

情報連絡員報告を中心とした

# 県内の中小企業動向

平成26年5月期

情報連絡員50名 回答数50名

## 全体概要 【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。  
 (「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数)

### 前月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は5から7に増加。「減少した」業種は8から4に減少。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は2から6に増加。「減少した」業種は18から13に減少。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は3から5に増加。「悪化した」業種は7から6に減少。

### 前年同月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は10から5に減少。「減少した」業種は6から7に増加。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は9から4に減少。「減少した」業種は11から15に増加。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は8から5に減少。「悪化した」業種は5から9に増加。

#### 製造業

##### しようゆ製造

【県内全域】

駆け込み需要の反動にて5月も売り上げの減少が続いた。

##### 漬物製造

【県内全域】

消費税アップの反動が予想より少ない。

##### 豆腐製造

【県内全域】

景況の変化はない。千葉市では豆腐製造業者に対し、井戸水にメーターを付け、水道料金を発生させる仕組みとなった。業者は負担増に苦しめられることとなる。

##### 酒類製造

【県内全域】

消費税引き上げの影響は予想より小さいものの、景況感は横ばい。価格転嫁はほほできてはいるが、一部転嫁できない流通あり。

##### 乳製品

【県内全域】

乳業界全体にヨーグルト・ハードリンク類が好調に伸びている。

##### 製材

【県内全域】

年度が変わって以降、消費税の問題が不明だが、売上減少気味。

##### 製材

【木更津】

5月はロシア材2隻、米材1隻、南用材は入港なし。在庫は全体に増加傾向。

##### 印刷

【県内全域】

売上は4月と比較して若干増加

した模様。例年5月は新年度需要に対応するために操業度も上昇するが、今年は消費税率の上昇を見込んだ新年度分の駆け込み需要が3月中に上乘せされたため、5月中旬までの稼働率は低下した。下旬からは例年通りに稼働。用紙や資材の販売も中旬までは一部買いだめの影響もあり、ほとんど注文が入らなかったようだ。

##### 電気鍍金

【県内全域】

消費税率改正後の4月30日時点で、調査を実施したが、売上高は25%のマイナスとなった。3月の駆け込み受注の影響が顕著に表れている。大方の見方は、秋頃までには様子見で幾分そのころには経済状況は上向くのではないかと期待感を持っている。

##### 鉄工

【千葉】

前月対比では、全体としてこれまで同様横ばい推移が続いている。各社の現況推移に特段の変化は見られない。

##### 機械部品製造

【野田】

現状安定の兆し。

##### 機械部品製造

【流山】

燃料費の高騰が続いており、輸送コスト、電気料金等のコストが増加しているため、負担が大きい。

■機械部品製造 【柏】

特に大きな変化はないが、原材料、電力費、社会保険、消費税等の負担が増加。

■金属製品製造 【船橋】

回復傾向にあるが、先行きは不透明。

■土砂採取 【県内全域】

前月比及び前年同月比とも前回の状況報告時と大きな変化はなく、厳しい状況。なお、地域によっては、売上高の増加、設備操業度の上昇、出荷状況上昇傾向にあり、僅かながら景気が好転している気配が感じられるとの報告もあった（しかし、悪化の報告、全般的に低調との報告も）。地域によっては、再度の販売価格の値上げを予定して、その交渉を継続し周辺の状況を各社が伺っている様子あり。

非製造業

■総合卸売 【千葉県・東京都】

近隣飲食・サービス業のパート・アルバイト人員不足から、時給が上昇しており、団地パート・アルバイト従業員が複数企業であり、人手不足が出てきている。5月は特に消費税増税後の売上減少が顕著となっており、諸経費・人件費アップと合わせ、収益性が低下し

ている。

■食肉卸売 【千葉市他】

豚のと畜頭数の確保が厳しくなっている。豚のと畜頭数が減少している。

■建築材料卸売 【県内全域】

4月よりはまし。東京は人手不足で工事停滞らしいが、千葉は物件がなく、需要減。前年割れは当分続く模様。

■乾物卸売 【県内全域】

業界動向は、セメント値上げは小幅だが浸透した。中期的には需要があるはずなのだが、数量的には当面低落に歯止めがかからない。輸送力ネックも当分解消できない。

■小売 【柏】

業種によっては悪化しているところもあるが、全体としては不変である。

■電気機器小売 【県内全域】

今月も消費税駆け込み後で、売上は激減している。買い替え需要はあるが依然厳しい。

■青果小売 【千葉市】

春夏野菜が続々販売となり、目新しさと相まって動きが良くなった。売上額も増税分を差し引いても前年を10%以上上回った。

■中古車仕入・販売 【県内全域】

増税前の駆け込み需要の反動で、勢いは止まった感があり、相場は急落・在庫過多となり積極的な仕入は影を潜め、いつ市場が回復するか関心が集まっている。輸出車については相変わらず好調。

■小売 【東金】

趣向品（比較購買品）は、消費税増税後の落ち込みが続いている。食品関係は、影響は少ないようである。全体的には、今一歩の状況。

■小売 【野田】

消費税増税の混乱もひと段落して、消費者の買い控えも落ち着いて、感じである。

■小売・サービス 【柏】

消費税の影響はほぼ静まって落ち着いた感がある。業種によっては、価格に上乘せせず営業している店も見られる。商店会全体では微減と不変が多く大幅減の店は少ないようだ。

■建設揚重 【県内全域】

5月に入り、4月の下降分も戻り、上昇傾向にある。

■遊覧船 【鴨川】

風の強い日が多く波があり、欠航も増えたため、前年をかなり下回った。

■一般廃棄物処理 【千葉】

先月の状況が良かったので、ここに来て増税の影響で落ち込んだかなという感じ。

■学習塾 【県内全域】

全体的には悪化しつつある。大手塾の攻勢が強い。今年度からいよいよIT（タブレット）を使用した新しい授業の流れが本格化しそう。そうになると、中小塾は苦戦を強いられるだろう。

■土木建築サービス 【県内全域】

消費税増税後も景気は上向いている様子である。

■建設 【県内全域】

当連合会加入組合員の受注額は、7,260百万円であった。これは、前月比で3,851百万円の増額であったが、前年同月比では△2,489百万円であった。地域別では全ての地域で前月より多かった。

■貨物運送 【野田】

5月は大型連休により稼働日数が少ないため売上も少ない。昨年と比較しても少ない。

■輸出入 【県内全域】

3月から売上が上昇傾向になり、5月は前月比、前年同月比とも増加した。